

GEOGRAPHIC CAFE

～世界の国々の諸課題を知るためのメニュー作り～

高校 2年 地理A

「世界の生活・文化の多様性」
資料の活用



世界の特色ある食文化と地理的環境や地域の持続可能性に関わる諸課題との関わりを捉える学習を通して、国際理解や国際協力の重要性を認識する。その際に、国連の持続可能な開発目標（SDGs）との関連を捉えながら、図書館の資料等を活用して学習を進めることによって理解を深める。

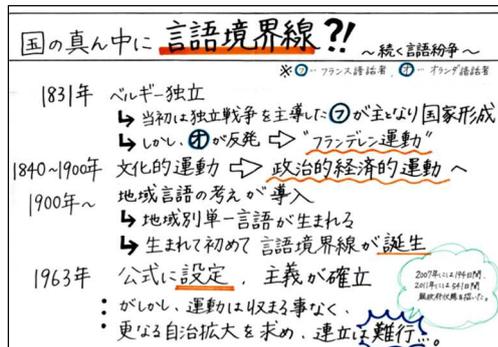
学習展開

- ① 本単元のねらいや目的を説明する。生徒個々に担当する国や地域を決め、資料を集める。

目的

「世界のさまざまな国や地域独特の食文化や諸課題を調べ、担当する国や地域の諸課題に対する理解が深まるようなメニューを考案する。このことを通して、相互に国際理解や国際協力の大切さを理解する。」

- ② 集めた資料から、担当する国や地域の持続可能性に関する諸課題を見つけ、持続可能性に関する諸課題の解決に導けるような工夫、諸課題に気づくことができるメニューを考案する。
- ③ 考案したメニューや、地域の諸課題をまとめ、プレゼンテーション資料を作成し、それぞれの内容を発表する。



生徒の作品

◆司書教諭と学校司書の関わり

- 学校司書は、教科担当教員と事前に打ち合わせを行い、授業計画や内容を確認し、テーマに関する資料を準備する。
- 学校司書は、教科担当教員と連携して、生徒の本の検索や調べる活動を支援する。
- 学校司書は、筆記用具等作品制作に必要な物品の準備をする。

★指導のポイント

- ◆ 諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりできるように指導する。
- ◆ 生活文化の紹介だけでなく、地域の諸課題との関わりに気付けるようなものとするよう指導する。
- ◆ 完成した作品は、作品集にまとめ、QRコードで共有する。

資料

『世界国勢図会 2020/2021 年版』(矢野恒太記念会)、
『国別世界食文化ハンドブック』ヘレン・C・ブリティン// 著 (柘風舎)、
『世界の郷土料理事典』青木ゆり子// 著 (誠文堂新光社)、ほか多数。